

保護者の方へ

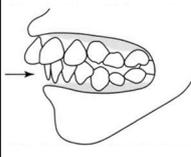
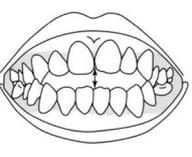
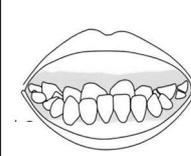
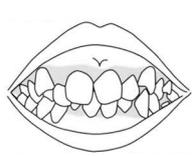
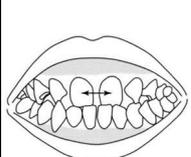
学校歯科健康診断と歯科医院の診断結果について

●学校歯科健康診断はむし歯やお口の中をチェックするスクリーニング(ふるい分け)検査です。そのため、学校歯科健康診断の結果と整った環境の歯科医院での診断は異なることがあります。より詳細な診断を受けていただくため歯科医院の受診をお勧めしています。

●「11. 歯ならび、かみ合わせに問題があります」にチェックがあった場合

学校歯科健康診断では、矯正治療の必要性を判断しているものではなく、お子様の将来の歯・お口の健康、全身の健康への考えられるリスクの大きさを判断しています。歯ならび・かみ合わせの不正は成長発達段階により、様々な悪影響を及ぼす可能性があり、学校での生活にも影響が出る場合があります。矯正歯科専門医の受診は自費扱いになる場合がありますので、まずは一度かかりつけ歯科医に相談されることをお勧めします。

<歯ならびやかみ合わせの不正の代表的なものには以下のようなものがあります。>

上顎前突		開咬 (かいこう)	
	奥歯を噛み合わせた時に、上の前歯が前方に過剰に出ている状態です。		かみ合わせた時に、上下の前歯に隙間ができ、前歯がかみ合わない状態です。
上顎前突、開咬の状態は唇が閉じにくい場合があります、むし歯や歯肉炎にかかりやすくなります。また発音や滑舌の悪さ、かみにくさの原因になることもあります。			
反対咬合		叢生 (そうせい)	
	奥歯をかみ合わせた時に、下の歯が上の歯よりも前に出ている状態です。 かみにくさやあごの不調の原因になることがあります。		歯が重なり合ってはえている状態です。 むし歯や歯肉炎にかかりやすくなります。
正中離開		その他	
	上の前歯の間に大きな隙間がある場合、過剰歯が埋まっている、悪い癖(鉛筆をかむ癖など)があったりする可能性があります。	この他にも、歯数の過不足、形態異常、極度のすり減り(咬耗・摩耗)、深いかみこみ(過蓋咬合)、上下の歯列のすれ違い(交叉)などのうち、将来的に悪影響を起こすリスクのあるものをチェックしています。	